

平成24年 第1予算審査特別委員会討論要旨

◎ 市 民 ク ラ ブ

市民クラブを代表して第1予算審査特別委員会に付託された議案第1号滝川市平成24年度一般会計歳入歳出予算及び関連議案に対して賛成の立場で、そして修正案に反対の立場で討論をいたします。

平成23年度は52年ぶりの民間出身の市長として、公約であった北海道で初めての「副市長全国公募」また「白鵬米」のブランド化や台湾への農産物の販売拡大及びJR駅のエレベーター設置、「市立図書館」や「まちづくりセンター」の街なかへの移転など実現されたことを踏まえて、平成24年度は市長としての初めての予算編成、総合計画のスタートの年として厳しい財政の中で取捨選択の理念のもと、市長の公約、市民のニーズを反映した各種の新事業が予算化されており、とりわけ乳幼児等医療費の無料化においては、安心して子供を産み、育てられる環境づくりに努められたことは大いに評価いたします。

しかし、現在の財政事情の中で、教育については、学校改修計画により開西中学校改修、滝川第三小学校改築への着手等教育施設の改善は進んでいるが、子供たちの学力向上のため、35人学級の実現や教材教具の充実等子供たちの教育環境整備には、抜本的見直しが求められています。

また、高齢者、障がい者が安心して暮らせるまちづくりが必要であります。

以下、若干の意見を付して討論といたします。

(歳 入)

1. 安定財源確保のため、地方交付税、特別交付税や国、道等の補助金などの確保に努め、地方への更なる財源移譲の要請を行っていただきたい。
2. 市税収納率の向上は評価いたしますが、今後も生活困窮者に配慮しながら、市税等の収納率向上年次計画を確実に実行し、徴収体制の強化を図り、自主財源確保の努力を続けていただきたい。

(歳 出)

1. 総務費

生活保護費不正受給による職員の給与の削減は、平成23年度で終了し、国家公務員給与削減に準じ、本市でも削減が継続されると聞いていますが、財政健全化のためご協力願った職員の皆さまに感謝申し上げます。

- (1) 「男女共同参画策定検討会議」の早期設置と年度内の計画実現を図っていただきたい。
- (2) 難病の子供たちの癒しの施設である「そらぶちキッズキャンプ」への支援の継続と更なる支援拡大の努力をされたい。
- (3) 未来へつなぐ市民税1%事業補助金のメニューについて、市長の公約や市民の要望が幅広く取り入れられるように、改善と市民への更なるPRに努めていただきたい。
- (4) 現在、東滝川地区で、東滝川地域の振興を考える懇談会が進んでいるが、江部乙地区において、早急に「振興市民会議」設置を立ち上げ、江部乙地域の振興策要望実現に向け、次年度以降の予算反映がされるよう望みます。

2. 民生費

- (1) 子育て世代の医療費負担の軽減を図るため、乳幼児医療費の就学前受給者の医療費を、平成24年度から無料化することは評価いたします。
- (2) 直営の中央保育所、二の坂保育所の保育時間の延長を実施、また、病後児保育の開設時間を延長するほか放課後児童クラブの長期休業中を含む開設時間を拡大することについては、保護者が安

心して子育て、仕事の両立ができる環境づくりを図られることについては評価します。

- (3) 緑寿園の養護老人ホーム、軽費老人ホーム等について、施設譲渡へ向けた取り組みを早急に進め、老朽化した施設の改築を早期に着手するように努力されたい。

3. 衛生費

女性特有のがん検診推進事業については、年齢拡大を検討されたい。

4. 労働費

緊急雇用創出事業の有効な推進を図られたい。

5. 農林業費

- (1) 農家戸数を減らさないため、規模が小さく各種補助金等の対象にならない農家への支援方策を検討されたい。
- (2) 元気な農業づくりのためのハウス補助金、新たに滝川農業塾の開設、農業の6次化推進など、農業を滝川経済の推進役と位置づける施策は大いに評価をいたします。
- (3) 担い手農家の今後の更なる規模拡大が予想される中、土地改良事業の推進が図られており、今後の更なる予算確保に国、道等に要望していただきたい。

6. 商工費

- (1) 丸加高原健康の郷の伝習館については、改修が進められるが、江部乙丘陵地の観光拠点としての役割は多大であり、更なる魅力ある施設になるよう活用方法について検討されたい。
- (2) 丸加山のコスモス栽培に力を入れ、菜の花とあわせた花観光事業を大きく展開し、集客を図る努力をされたい。

7. 土木費

- (1) 除排雪については、除排雪組合に指導を徹底し、雪道の安全確保に努力されたい。
- (2) 障がい者や高齢者の門口除排雪については、特段の配慮をされたい。

8. 教育費

- (1) 35人学級の完全実施に一層の努力をされたい。
- (2) 学校の教育環境整備に力を入れるとともに、備品、消耗品費の増額にも努力されたい。
- (3) パークゴルフ場建設について検討されたい。

最後に、厳しい情勢の中で、予算編成に努めてこられました関係職員の皆さまに対し、心よりここに敬意を表しますとともに、小さい声にも耳を傾け、全ての人が健康で安心して暮らせるまち、さらに生き生きと生活する活力あるまちづくりを目指して、最善の努力をされますことを祈念して討論いたします。

◎ 新 政 会

新政会を代表し、第1予算審査特別委員会に付託されました議案第1号平成24年度滝川市一般会計歳入歳出予算及び関連議案を可とする立場で、また、その修正案を否とし、意見・要望を付して討論いたします。

東日本大震災から早いもので1年が経過し、被災地の多くの市民はもちろんのこと、日本中が復旧、復興に心血を注いでいる所であります。これだけの甚大な被害に対しては、包括的かつ継続的で息の長い支援が求められるものと考えます。

一方、滝川市に目を向けると明るい話題、材料が乏しい中であっても困難に立ち向かう姿勢を見せることが重要だと思います。景気低迷の中、市民と一体となったまちづくりを力強く推進するための予算編成であったと推測いたしますが、しっかりと市民が納得いく予算執行を強く要請するとともに、市民

生活の向上と安心のできるまちづくりを要望いたします。

(歳入)

大変厳しい財政環境の中での歳入予算編成がなされたことに敬意を表します。

前年比市税・国庫支出金・諸収入においては、6億5,000万円余の減。一方、地方交付税及び基金の繰入金で4億6,000万円余の増とした中での総額203億9,500万円の歳入予算を組み立てました。

しかし、一時的にも基金から前年比4億円増の繰り入れをした中で予算を組み立てたことは、歳入不足が否めないと考えるところです。基金からの繰り入れは最小限にとどめる努力を惜しまず歳入予算を編成するように努められたい。また、これらの財源を積極的かつ効果的に市民が納得できる経済活性化に結びつける予算執行を要望いたします。

(歳出)

1. 総務費

街路灯維持費補助金については、節電、省エネに対する対応としてLED化に向けた検討をされるよう要望いたします。

2. 民生費

東日本大震災被災地支援事業に対する100万円の支出を評価いたします。

生きがいと健康づくり推進費にかかわる福祉除雪委託料においては、お年寄りの声を充分把握するように努められたい。

子育て支援事業、放課後児童クラブ事業、放課後子ども教室事業に対しては子供たちに対して充実した内容となるように努められたい。

3. 衛生費

市民の健康づくりと健康管理における保健事業に要する経費については評価いたします。

ごみ減量化、リサイクルの推進に向けての取り組みは、環境にやさしいまちづくりに大きく前進するものと期待いたします。

4. 農林業費

滝川市の農業施策の具体的内容に踏み込んだ中での予算付けをしたことに評価するところです。元気な農業づくり、農業整備補助金の支出においては農業者のスキルアップに大きく寄与するよう努められたい。

5. 商工費

中心市街地活性化対策事業に関しては、各種補助金の活用が駅前再開発ビル活性化ビジョンの取り組みと一体となった用途を要望いたします。

商業振興対策における新規事業の街なか賑わいづくり事業補助金においては、総合的な活性化策と結びつけるように努められたい。

観光協会補助金、菜の花まつり補助金の事業については、一体感と柔軟性を持った事業展開を要望いたします。

6. 土木費

公共施設維持管理計画作成事業に対しては、各種公共施設が数多くある中で、方針を示すことに対して評価いたします。

さらに公共事業予算においても雇用を中心とした地域経済の活性化を進めていく上でも、事業内容を含めて波及効果が上げるよう努められたい。

7. 教育費

小・中学校における外国語指導等の充実、文化体育大会派遣奨励金の拡大における対応は評価するところでは。

学校の魅力づくり事業補助金においては、目的と内容にはそれぞれ学校側の裁量で魅力を発信するように要望いたします。

図書充実においては、十分な市民の声を取り入れた運営に努められたい。

8. 貸付金

実質累積欠損金のある第三セクターの健全化への対応では、貸付金によって賄われていることを強く認識するとともに、滝川市の財政に深刻な影響が及ぶことなく更なる経営努力に努められたい。

◎ 公 明 党

公明党を代表し、第1予算審査特別委員会に付託されました議案第1号「平成24年度滝川市一般会計予算」及び関連議案の全てに賛成の立場で、また修正案に反対の立場で討論いたします。

日本は円高、デフレ、消費の低迷による大変厳しい経済状況にあります。また世界に類のない少子高齢化に直面しております。本市においても同様であり、この課題克服が最重要と考えます。平成24年度予算において、限られた財源の中で、社会インフラの充実、子育て支援の就学前医療費の無料化、高齢者のための「高齢者見守り支援センター事業」など高く評価いたします。

私は特に地域経済を元気にし、若者の雇用を推進することが最重要課題であると考えます。そのためには、インフラ整備を先行させることにより、地元企業を活性化させることが必要と思います。

そういう意味からもマスタープランである都市環状の形成は、本市の将来を見据えた時、重要な都市計画であると確信します。以下若干の意見を付して討論いたします。

(歳 出)

1. 総務費

- (1) 既存の業務内容を総点検して改善、改革に努められたい。
- (2) まちづくりセンターの充実に努められたい。

2. 民生費

- (1) 高齢者等の福祉除雪の拡大に努められたい。
- (2) 子育て中の保護者支援である保育時間、放課後児童クラブ開設時間の拡大を評価します。

3. 衛生費

- (1) 死亡率第1位のがん対策として、がん検診率を高めるための啓蒙、啓発に努められたい。
- (2) 二酸化炭素削減のための事業推進に努められたい。

4. 労働費

国の交付金事業である緊急雇用創出事業などを活用し、雇用拡大と継続事業につながるように努められたい。

5. 農林業費

滝川ふれ愛の里の健全経営の要因は、入浴者数を増やすしかありません。そのための手法を民間に倣い努められたい。

6. 商工費

中心市街地活性化には、まず空き店舗対策、また大手企業にはない専門店化が必要と思います。そ

のための新たな助成制度を検討されたい。

7. 土木費

前年比2億5,000万円増の予算を評価します。将来に必要な社会インフラを先行し、地元企業の活性化を更に推進されたい。

8. 教育費

学校の耐震化を、一日でも早く実施するよう努められたい。また環境教育の面からも太陽光発電などを推進されたい。

以上申し上げ、討論といたします。

◎ 清水 雅 人(日本共産党)

私は日本共産党を代表し、議案第1号平成24年度滝川市一般会計予算のうち修正案を除く予算を可とする立場で、また修正案を可とする立場で、またその他の議案を可とする立場で討論を行います。

まず初めに、新年度の行政は、東日本大震災の震災廃棄物受け入れ問題、泊原子力発電所全機停止の可能性での節電問題、駅前再開発ビル問題、社会福祉事業団に指定管理委託している施設譲渡問題などで、迅速かつ冷静な予算執行を市民とともに行うこととなりますが、日本共産党も全力を尽くす決意を述べるものです。

今回の予算編成予算は、

- ①防災倉庫、公共施設維持管理計画策定、空き家等の適正管理に関する条例施行、開西中学校耐震補強改築と大規模改修、第三小学校改築実施設計など防災と安全のまちづくり、
- ②引き続き独自の少人数学級、市立病院院内保育所、保育所や放課後児童クラブの時間延長、教育支援センター移転などの各種子育て支援、
- ③危機的な地域経済を向上させるため、公募副市長の経験や人脈を生かした企業誘致活動、中小零細企業の仕事を支えるために住宅リフォーム助成制度に加え、太陽光発電での助成制度を始めること、臨時職員の障がい者枠12を目指し、精神障がい者について検討を始めること、元気な農業づくり補助制度の拡充と滝川農業塾開設、菜の花観光や白鷺米などに加え、グライダーを活用した外国人観光客誘致計画、
- ④中心市街地バリアフリー、滝川消防団第四分団詰所新築や転作研修センター体育館実施設計など新たなまちづくり、
- ⑤岩手県宮古市への息の長い復興支援や様々な国際協力など助け合い共に発展する活動、
- ⑥文化センター照明設備更新、温水プール譲渡による水泳授業と市民の健康確保など評価するものです。

なお、修正案につきましては、先ほど説明しましたとおりであり、この部分については新年度予算化する必要はありません。

以上討論といたします。